



かどっぴー・がわっぴー

# ふれあい

平成29年4月 NO1  
発行 門川町教育研究所  
所長 新原とも子  
TEL 63-1566  
五十鈴小学校内(教育相談室)

新年度が始まりました。通学路上では子どもたちの笑顔や元気いっぱいに登校する姿が見られ、町全体が何だか明るくなったように感じられます。子どもはやっぱり地域の宝物です。門川町教育研究所では、門川町の教育的課題である「確かな学力の向上」を図る取組の一つとして27年度から「ICT機器を効果的に活用した授業」の研究・実践に取り組んできました。取組3年目となる今年度はその研究を深化させ先生方へ普及推進することを目指していきたくと考えています。その取組状況や成果をこの「ふれあい」(町HP)を通じて家庭や地域、学校に情報発信していきます。

また、門川町では27年度から家庭と地域が一体となって「子どもの成長を支え育む“かどがわ4か条”」に取り組んでいるところです。今年で取組3年目を迎えます。これまで、ご家庭での取組状況はいかがでしょう?「石の上にも3年」「継続は力なり」です。3年続ければ必ず成果が見えてきます。今年も「かどがわ4か条」に精出して、しっかり取り組みましょう。

## これが子どもの成長を支え育む “かどがわ4か条”です



4か条のポスターを  
貼ってますか?



- 1条 か 家庭でメディアの約束をつくります!
- 2条 ど 読書を家族みんなで楽しみます!
- 3条 が 学習している子どもを応援します!
- 4条 わ 我が町の行事に進んで参加させます!

**26年度と28年度の家庭学習・生活習慣実態調査結果をもとに、4か条に関連する門川町内の児童生徒の回答結果をみると、次のような状況がみえてきます。**  
ご家庭での取組の参考にして頂ければと思います。



### 1条 家庭でメディアの約束をつくります!

門川町では、28年度「テレビを見ない、ゲームをしない日を作っている」と答えた小中学生が町全体で49%と半数に止まっています。小・中別に26年度と比較すると、小では60%と5ptアップ、中では27%と9ptダウンしています。わが家のルールづくりを見直して楽しい学校生活や家庭生活を送りましょう。

### 2条 読書を家族みんなで楽しみます!

28年度町全体で34%が「家族と一緒に読書する日」を作っています。小・中別では小45%中11%で、26年度に比べ小は10pt増加、中は7pt減少しており、一緒に読書する時間確保はなかなか難しい状況のようです。ご家庭で食後のひと時、読んだ本を話題にして親子の会話を楽しむなどの工夫をしてみられては...

### 3条 学習している子どもを応援します!



28年度町全体で71%、小学校78%、中学校58%が決まった時間・場所で家庭学習しています。また、TVやゲームから離れて勉強している割合は町全体で72%、小で79%、中で58%となっており、中学生の「ながら勉強」の現状がうかがえます。学力アップには、保護者のアドバイスや応援が不可欠です。ヤル気モードにする声かけをタイミングよく、根気強くお願いします。

### 4条 我が町の行事に進んで参加させます!

地域の行事に参加する子どもの割合は、小学6年が68%で全国平均と同率、県平均よりやや低く、中学3年が32%で全国、県平均より13pt以上低くなっています。小学6年は3年前からほぼ同率ですが、中学3年は下降傾向で14pt減少しています。小中とも70%以上の子どもたちが「地域や社会への関心がある」と回答しており工夫次第で参加率も高まります。



## 新学年の始まりは子どもの小さな変化を見逃さず、しっかりと見守ってください！

4月は新入学や新学年への進級と、子どもたちにとって新しい学校生活が始まり、一人一人違った思い（期待感や不安感等々）を胸に登校します。保護者にとっても我が子の安全面や健康面、対人関係など、心配事が尽きません。寄り添いを！



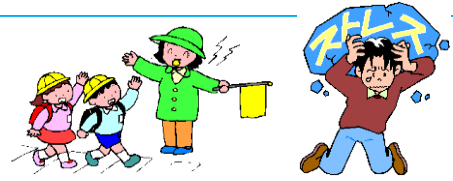
### 気になる子どもの変化！

#### ○持ち物に表れる変化

- よく無くなる。汚れが目立つ。壊れる。
- 落書きやイタズラされている。

#### ○日常生活に表れる変化

- 何となく元気がない。食欲がない。
- 朝、なかなか起きてこない。
- あいさつしなくなる。声が小さくなる。
- 原因不明の腹痛や頭痛を訴える。
- 親への反発、兄弟やペットに乱暴になる。
- 友だち、学校の話をしなくなる。
- 登校をしぶる。



## 早期発見・早期対応が鍵！

4月、子どもたちは環境の変化で心や身体に大きなストレスを抱えています。それを上手く表現して解消できず、さらにストレスが増え、誤った表現をする子どもも出てきます。それが「いじめ」という形で出てくるかもしれません。いじめられる子どもの早期発見には、小さな変化も見逃さない周囲の目配り、気配りしかありません。

身の回りをはじめ、心や体の変化をしっかりと見守り、問題を見つけ、早く対処することが大切です。サインは必ず出ています！

**教育研究所は、今年も「ICT教育の研究・実践」に取り組み、家庭・地域・学校に門川町の児童生徒の状況や研修情報を発信すると共に、子育てを応援していきたいと考えています！**

心に残った  
本の一節

コブクロの曲「ここにしか咲かない花」を聴いた臨床心理士の長谷川博一さんのインタビュー記事からの一節をご紹介します。お子さんと向き合う時の参考になれば…

〔出典：ごま書房新社「日本一心を揺るがす新聞の社説」水谷もりひと著〕

「<甘え>の究極の形は、子どもの存在を無条件で喜ぶことです。『何もない場所だけど、ここにしか咲かない花がある』というコブクロの歌の詞がありますが、我が家に生まれたこの子は『ここにしか咲かない花』だという気持ちがあれば、子どもに伝わります」

子どもというのは、子どもらしく生きることが大事で、子どもらしく生きるとは、第一に「甘えること」であると。「甘ったれるな」と叱責するのは子どもがいい年になってからの話で小学生くらいまでは十分に甘えられた経験を積み重ねておくことが大事だということです。



## 子どもの教育や子育てで、悩んでいませんか？

困った時には、教育相談室に気軽に電話をしてください。

相談電話（門川町教育相談室）  
Tel・Fax 63-1566

～～～返信欄（教育研究所便り「ふれあい」へのご意見やご感想をお聞かせください。）～～～

※学校の先生へお渡し下さい。